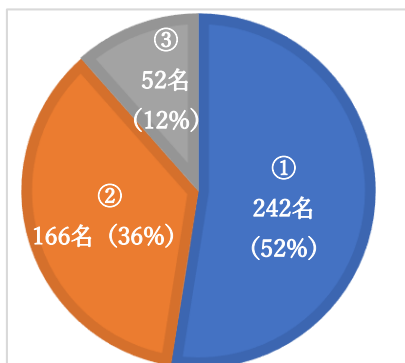


居宅 回答者 (461名) 居宅介護を受けている (242名)  
 GH 入居回答者 (89名) 医ケア・医療行為を受けている：40% (36名)

## アンケート調査 (概要)

### 【在宅(居宅)の方】 (461名)

自宅で居宅介護支援を受けていますか。

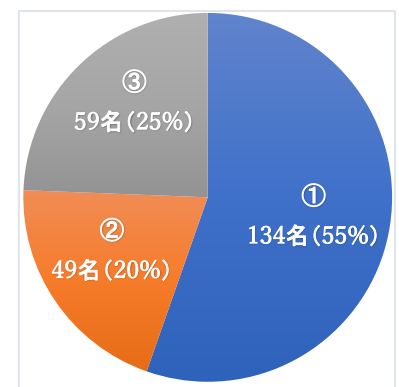


- ① 受けている 242名 (52%)
- ② 受けていない 166名 (36%)
- ③ 無回答 52名 (12%)

#### ●居宅介護を受けている方 242名

個別の支援計画と実際の支援時間の差異

- ① 計画に比べ実際の支援時間が短い  
134名 (55%)
- ② 個別計画・実際利用量が同じ  
49名 (20%)
- ③ 回答不完全  
59名 (25%)



※居宅介護を利用していない方 166名中

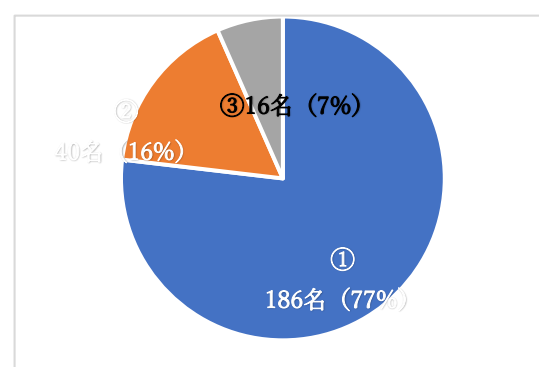
#### ●支給を受けているのに利用していない(理由) 28名

- ① 家族で介護できる 8名 (29%)
- ② 親や本人が嫌がる(時間が合わない等もある) 2名 (7%)
- ③ 事業所がない 10名 (36%)
  - ・重心を受け入れてくれる業者が見つけない。(2名)
  - ・医療的ケアあり(受入れ事業所なし。医療度が増えた気管切開ダメ。訪問看護を利用等)(4名)
  - ・週末利用できない(1名)
  - ・人手不足(2名)
  - ・重度訪問できる事業所が1年みつからない居宅介護に変更して新たに探している(1名)

#### 利用している(居宅介護)実際の支援量について

##### ●全体評価(支給を受けている方) 242名

- ① 時間数は十分である 186名 (77%)
- ② 時間数十分ではない 40名 (16%)
- ③ 無回答 16名 (7%)



### 1.時間数十分ではない 40名

- ① 計画に比べ実際の支援時間が短い 16名(40%)
- ② 個別計画・実際利用量が同じ 14名(35%)
- ③ 無回答 10名(25%)

### 2.時間数十分でない方で増やしたい支援 40名

- ① 入浴支援(複数介助希望含む) 9名(22%)
- ② 見守り 6名(15%)
- ③ 移動支援(外出、通院、買い物等含む) 7名(17%)
- ④ 身体介助(医ケア、全介助、複数介助含む) 6名(15%)

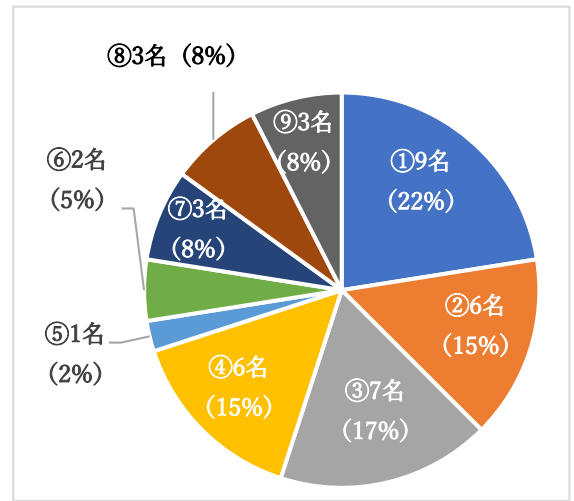
⑤ 食事支援 1名(2%)

⑥ 排せつ支援 2名(5%)

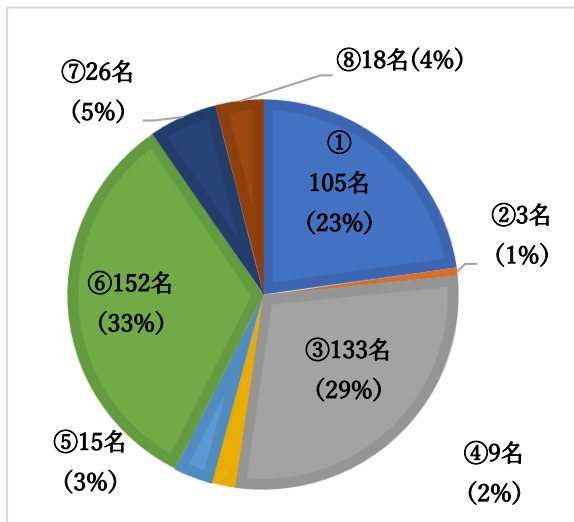
⑧ その他 3名(8%)

⑦家事支援、行動援護、ショートステイ等 3名(8%)

⑨未記入 3名(8%)



### 今後、障害者ご本人が希望する住まい



回答者 461名

① グループホーム 105名(23%)

② サテライト 3名(1%)

③ 入所施設 33名(29%)

④ 公営住宅等で一人暮らし 9名(2%)

⑤ 共同住宅 15名(2%)

⑥ 実家住まい 152名(33%)

⑦ その他 26名(6%)

・意志不明、考え中、分からない 18名

・親子で入れる施設 3名

・小規模多機能的ホーム 1名

・未回答 4名

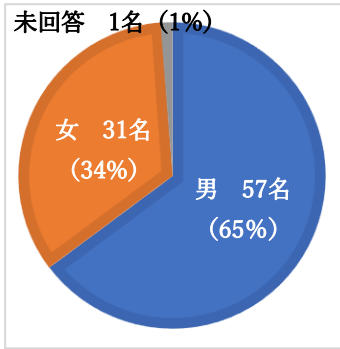
### 【居宅で医療的ケア・医療行為を受けている方】

居宅回答者(461名) 居宅介護を受けている(242名)

- ① 居宅介護を受けている(242名)で、医ケア・医療行為を受けている方77.7%(188名)  
※GHで居宅介護を受けている(16名)で、医ケア・医療行為を受けている方は62.5%(10名)
- ② 医ケア・医療行為を受けている(188名)で、支援計画より実時間が短い方は56.4%(106名)  
※GHで居宅介護を受けている(16名)で医ケア・医療行為を受けている方は62.5%(10名)、  
内 支援計画より実時間が短い方は40%(4名)
- ③ 居宅介護支援時間が十分でない(40名)で、医ケア・医療行為を受けている方は82.5%(33名)  
※GH支援時間が十分でない(23名)で、医ケア・医療行為を受けている方は56.5%(13名)
- ④ 休日を満足していない(125名)で、医ケア・医療行為を受けている方は75.2%(94名)  
※GHで休日を満足していない(27名)で、医ケア・医療行為を受けている方は40.7%(11名)

## 【グループホーム(入居)の方】(89名)

### 障害者ご本人の性別と年齢

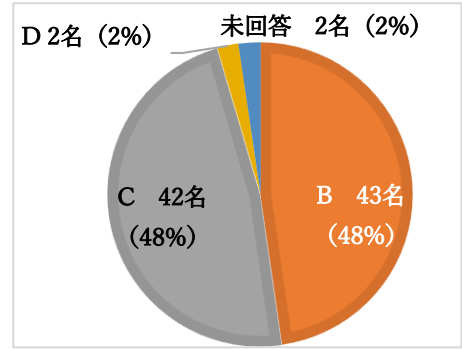


#### ●性別

男性 57名(65%)  
女性 31名(34%)  
未回答 1名

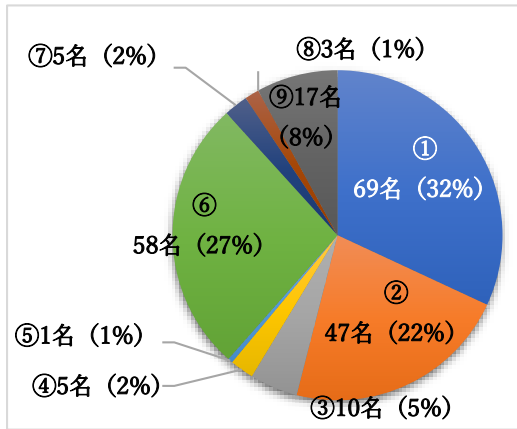
#### ●年齢 ※令和2年7月1日現在

A(19歳以下) 0名  
B(20~39歳) 43名(48%)  
C(40~59歳) 42名(48%)  
D(60歳以上) 2名(2%)



C(40~59歳) 42名(48%)  
未回答 2名(2%)

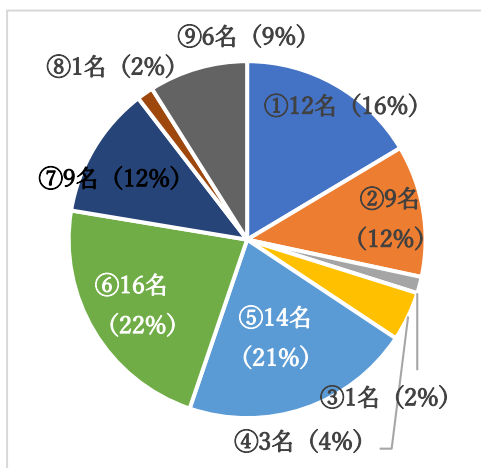
### 障害の種類(複数回答)※単 18名、重複 67名、未回答 4名



① 肢体不自由(上肢・下肢) 69名(32%)  
② 肢体不自由(体幹) 47名(22%)  
③ 視覚障害 10名(5%)  
④ 聴覚障害 5名(2%)  
⑤ 平衡機能障害 1名(1%)  
⑥ 知的障害 58名(27%)  
⑦ 内部障害 5名(2%)  
⑧ 精神障害 3名(2%)  
⑨ その他 17名(8%)

### 必要な医療行為や医療的ケアについて(複数回答)

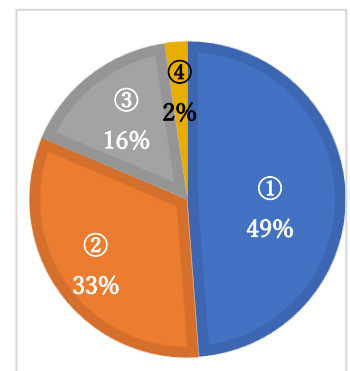
※医療的ケアの必要な方 32名(35%)



① 喀痰吸引 12名(16%)      ② 経管栄養 9名(12%)  
④ 人工肛門 1名(2%)      ④ 導尿 3名(4%)  
⑤ 浣腸 14名(21%)      ⑥ 坐薬 16名(22%)  
⑦ 排便 9名(12%)  
⑧ 酸素吸入(人工呼吸器等) 1名(2%)  
⑨ その他 6名(9%)※ 服薬回答

### 個別給付の「重度訪問介護」や「居宅介護」をGH内で利用できますか。

① 重度訪問介護を利用している 21名(49%)  
② 居宅介護を利用している 14名(33%)  
③ 利用していない 7名(16%)  
④ わからない 1名(2%)



## 個別給付の「重度訪問介護」や「居宅介護」について

### ●利用を希望したが個別計画に盛り込まれなかった(回答者 34名)

ア)居宅介護 1名

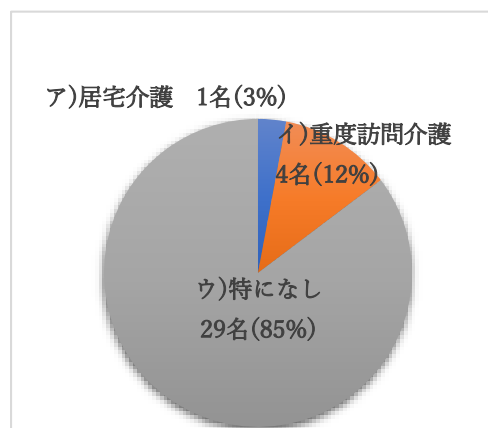
※入浴介護 15時間では不足のため希望

イ)重度訪問介護 4名

※夜間見守りが認められなかったため計画に盛り込まれなかった

100~150時間/月

ウ)特になし 29名



### ●個別利用計画にはあったが、行政から支給決定が下りなかったもの

ア)居宅介護 1名 32時間/月

イ)重度訪問介護 4名 100~150時間/月

※夜間見守りが認められなかったため計画に盛り込まれなかった

1名 330時間/月

## 今後、障害者ご本人が希望する住まい方について

回答者 81名

①グループホーム 67名(85%)

現在の生活に満足しているから 27名(65%)

ただし、下記意見あり)

- ・将来は施設入所を考えている 20%
- ・将来一人ぐらしをしたい今の制度では無理 1%
- ・自身が高齢になった時どうすればいいのかわからない 1%

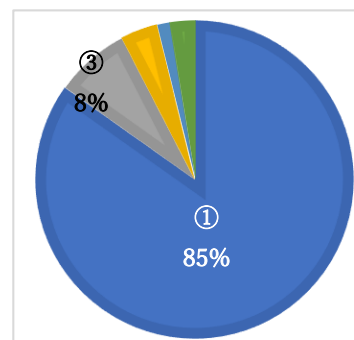
③入所施設 6名(8%)

※親亡き後を考えれば、重度、医療を考えると最終的には病院併設等の施設入所。

※GHは人手不足で医療的ケアに対応できる職員が不足し、両親は高齢で自宅介護は限界。

支援を受けながらGHで暮らすことを希望、本人も高齢で医療がもっと必要になれば入所施設しかない

※親の高齢、亡き後、GHで対応できなければ入所。選択できない。



その他、自身の目標、希望として、公営住宅等で一人暮らし、共同住宅、実家住まい、ある程度の医療体制がある施設希望回答あり。医療ケアが多いので、親なき後を考えると選べない 等

## 【グループホームで医療的ケア・医療行為を受けている方】

GH回答者(89名) 医ケア・医療行為を受けている: 40%(36名)

① 医ケア・医療行為を受けている(36名)で、支援計画より実時間が短い方は11.4%(4名)

② 医ケア・医療行為を受けている(36名)で、GH支援時間が十分でない方は37.1%(13名)  
※他、個別支援単位の時間数が不足しているという方は2名

③ 医ケア・医療行為を受けている(36名)で、休日を満足していない方は31.4%(11名)

## 《考 察 - 1》

- \*在宅者と GH 利用者とは、医療依存度は在宅者のほうが高い。
- \*在宅者・GH 利用者ともに、医療が必要な方は支援計画よりも実時間が短い
- \*在宅者・GH 利用者ともに、支援が足りていないと感じている方の大半は、医療が必要な方
- \*在宅者・GH 利用者ともに、休日が満足できないと感じている方の大半は、医療が必要な方

### 〈GH 学会報告〉

- ・医ケアを受けている：22% (3,177 件)
- ・医ケアを受けていて個別給付あり：11.7% (371 件)

## 《考 察 - 2》 今回の調査で以下のことが言えるのではないか。

- ① 在宅者と GH 利用者とは、医療依存度は在宅者のほうが高い。  
※今回の調査は父母の会を通しての調査のため、回答者に在宅障害者が多い。先の GH 学会の同種の調査では、GH 回答者のうち 22%の方が医ケアを受けている。  
圧倒的に在宅障害者に医ケアを受ける方の比率が大きく、父母の会関係の GH 回答も GH 学会報告よりも医ケアの方を占める割合が高い。

### 医ケアを受ける方の割合は

父母の会関係在宅障害者 > 父母の会関係 GH 障害者 > GH 学会報告障害者

- ② GH 学会報告からは、医ケアを受けていて個別給付ありは 11.7% (371 件) にすぎず、多くの GH では外部からの介護支援を受けないでいる。
- ③ しかし、今回の調査からは、たとえ個別給付を併用していても在宅者・GH 利用者ともに、医療が必要な方は支援計画よりも実時間が短く、十分な支援を受けられないでいる。
- ④ また、その実態を言い換えると、在宅者・GH 利用者ともに、支援が足りていないと感じている方の大半は、医療が必要な方であり、今後の大きな改善すべき課題といえる。
- ⑤ さらに、直接介護の不自由さだけでなく、在宅者・GH 利用者ともに、休日が満足できないと感じている方の大半は、医療が必要な方であり、言い換えると医療が必要となるとそれまで以上に、日常生活の QOL が落ちていることとなり、個人の健康で文化的な生活を送るという憲法上の侵害を受けているといっても過言ではない。

## 【資料】 令和 3 年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容(関連項目抜粋)

1. 障害者の重度化・高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援、質の高い相談支援を提供するための報酬体系の見直し等
  - (1) グループホームにおける重度化・高齢化に対応するための報酬の見直し
    - ・強度行動障害を有する者や医療的ケアが必要な者に対する支援の評価 等
  - (2) 自立生活援助の整備を促進するための報酬・人員基準等の見直し
  - (3) 地域生活支援拠点等の整備の促進・機能の充実を図るための加算の創設
  - (4) 生活介護等における重度障害者への支援の評価の見直し
    - ・重度障害者支援加算の算定期間の延長及び単位数の見直し 等
  - (5) 質の高い相談支援を提供するための報酬体系の見直し
    - ・基本報酬の充実

※「個人単位で居宅介護等を利用する場合の経過措置の延長」について

(介護サービス包括型、日中サービス支援型)

令和 3 年 3 月 31 日までとされている重度障害者に係る利用者ごとの個人単位での居宅介護等の利用については、重度障害者の受入体制を確保する観点から、当該経過措置を令和 6 年 3 月 31 日まで延長する。